

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2022

4

vol.292

第50回（令和4年度）東北酪農青年女性会議

酪農発表大会が福島県石川町にて
開催されました!!



TOPICS



3

第50回（令和4年度）東北酪農青年女性会議

経営発表の部

“酪農という仕事に誇りをもって
～人も牛も豊かになる酪農経営を目指して～”
福島県酪農青年研究連盟 福田 正幸 さん

意見・体験発表の部

“岩手山の麓で再出発 牛とともに豊かに生きる”
岩中酪青年女性会議 中居 広哲 さん

第50回東北酪農青年婦人会議（委員長 佐藤正仁）が主催する酪農発表大会が3月24日に福島県石川町 母畑温泉「八幡屋」にて開催されました。今回も新型コロナウイルスの影響により、東北の委員・発表者・県内会員のみが参加する小規模な開催となりました。また、オンラインでの配信もあり、現地に来られなかった会員の皆さんが視聴しました。

今大会では、経営発表と意見体験発表が1題ずつと少なく、意見体験発表の岩中酪青年女性会議の中居さんにおいては、体調不良により、発表を見送った為、福田正幸さんのみの発表となりました。意見体験発表の中居さんは、後日発表する機会が設けられます。発表者が福田さんのみではありましたが、非常に素晴らしい発表であり、7月14～15日に東京都江東区「ホテルイースト東京21」で開催される第50回全国酪農青年女性酪農発表大会に、東北酪農青年女性会議の代表として、経営発表の部で出場致します。引き続き応援頂きますよう宜しくお願い致します。

第50回（令和4年度）東北酪農青年女性会議 酪農



福島県酪農青年研究連盟主催

第68回酪農発表大会。 酪農講演会（第2回酪青連酪農後継者支援研修会）開催



福島県酪農青年研究連盟（会長 斎藤 忠義）主催の第68回酪農発表大会・酪農講演会（第2回酪青連酪農後継者研修会）を、2月22日（火）郡山市熱海町「磐梯熱海温泉ホテル華の湯」にて開催しました。この大会は、県内各地の優秀な酪農経営の成果を

発表し、それに基づく意見交換を行い、これによって酪農経営の合理化、そして近代化を推進して、本県酪農発展に資することを目的として開催しています。今回は、コロナ禍ということもあり、一般会員の皆様にはオンラインでの視聴をお願いし、当日は、発表者・関係者約24名が参加しました。

経営発表の部で、県中酪農研究会の福田 正幸さんが、「酪農という仕事に誇りをもって ～人も牛も豊かになる酪農経営を目指して～」と題して発表しました。

福田牧場では、自分たちのライフプランに合わせ、規模拡大等を実施し、しっかりと利益を確保しながら、家族との時間を大切にされています。飼養頭数が増えて、家族との時間が取れなくなっては本末転倒であり、購入TMRによる飼料給与体系、後継牛の外部委託化を行い、作業の効率化を図っているそうです。また長命連産に向けて、組合獣医師が実施する繁殖検診を利用した繁殖管理やオンファームカルチャーを取り入れた乳房炎対策、ゲノミック検査を利用した牛群改良等、積極的に取り組んでいます。

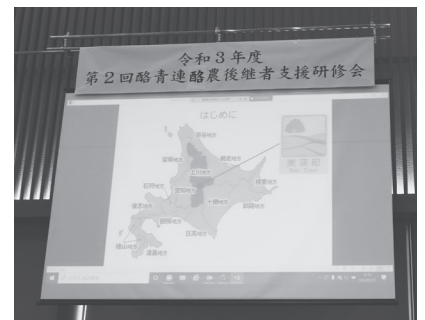
移動式カフェによる消費拡大運動も行い、生産者と消費者との懸け橋となるような活動を展開しています。

また、自分の趣味にあてる時間もしっかりと確保し、リフレッシュしながら、酪農に楽しく向き合っています。発表者の酪農に対する熱い、楽しく取り組んでいる様子が伝わってくる素晴らしい発表でした。今後一層の活躍をお祈り申し上げます。

発表大会終了後、酪農講演会（第2回酪青連酪農後継者支援研修会）が行われました。講師には全酪連札幌支所の技術顧問である中田 悦男先生をお招きし、「検定成績表の見方～検定情報から現場状況をどう現場活動に活かせるか～」というテーマで行われました。

牛群検定の成績表はたくさんの情報が詰まっており、活用すれば乳量をあげたり、餌の見直しができたりと、良い面がたくさんあります。しかし、情報が多すぎるがゆえに活かしきれていない方が多くいるような現状です。今回の研修会ではそういった成績表の見方から、乳房炎や繁殖についてなど幅広く説明してくださりました。話の中で特に印象に残ったのは乳頭口清拭度スコアの話です。これはミルカーを装着する直前の乳頭口を拭いたタオルについた汚れをスコア化したもので、きれいなものをスコア1で大量の泥や糞がついたものをスコア4としています。いくつかの牧場での例を写真付きで資料に載せてあった為、ベテランの人ほどきれいに拭けており、逆に不慣れな人ではスコア3、4が多いということが分かりました。乳房炎の感染を予防するために乳頭を清潔に保つことはとても重要な事であるので、乳頭口清拭度スコアはその目安になると思います。

今回の研修会では時間に限りのある中でかなり豊富な内容のお話を聞くことができました。この研修会で聞いたことを少しでも検定を実施されている方々が活かされればと思います。



酪青連 第3・4回酪農後継者支援研修会 開催

福島県酪農青年研究連盟では、第3・4回酪農後継者支援研修会を開催しました。第3回は、あぶくま検定組合主催の「牛群検定を活用した生産指導について」に関する研修、第4回は、「省力化機器の紹介」に関する研修会です。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、どちらの研修会もyoutube動画配信での研修となりました。

牛群検定の成績表見方や今注目されている省力化機器について、動画配信されました。

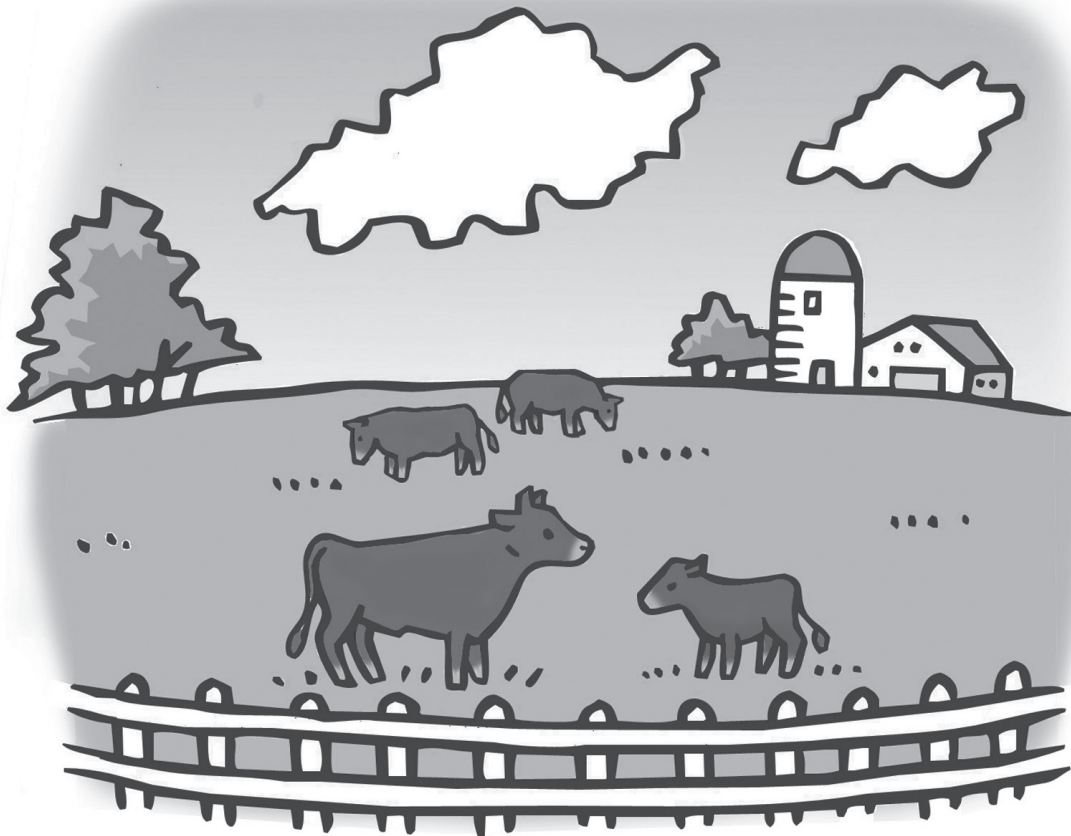
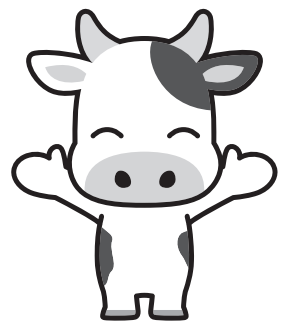
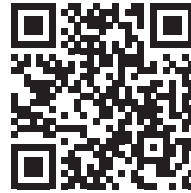
第4回の研修会については、現在も動画の視聴が可能ですので、ぜひご覧いただきたいと思います。

第4回酪農後継者支援研修会

演 題 「省力化機器の紹介について」

講 師 株式会社 ファームノート

視聴 URL <https://youtu.be/2ipNY7F6yz4>



令和4年4～6月の牛用飼料価格について

令和4年度第1四半期（令和4年4月～6月）の牛用飼料（配合・哺育）につきまして、下記のとおり価格改定を致しますのでご案内申し上げます。

記

改定額(令和4年1～3月期対比)

(1) 牛用配合飼料 トン当たり

4,200円値上げ

(2) 牛用哺育飼料 トン当たり

73,000円値上げ

原料情勢等につきましては、以下のとおりです。

主原料である米国産とうもろこしは、3月9日米国農務省の需給予想において2021年産の生産量は3億8,394万トン・前年107.1%、単収は177ブッシェル/エーカー、総需要量3億7,683万トン、期末在庫3,658万トン、在庫率9.64%と発表されました。

米国産とうもろこしについては、南米産の作付遅れに伴う生産量減少懸念や、緊迫するロシア・ウクライナ情勢を受けて、世界的な穀物の需給逼迫懸念があることから相場は高騰しています。

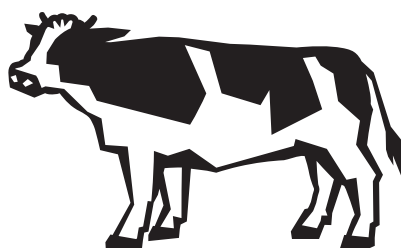
大豆粕については、南米産大豆の天候不順に伴う生産量減少や、需給逼迫懸念があることから相場は急騰しています。

糟糠類については、グルテンフィードは在庫量が非常に低水準であることから相場は底堅く推移しています。ふすまは、逼迫する他原料との兼合いで引合いが強いことから相場は底堅く推移しています。

脱脂粉乳については、主要産地の生乳生産量が減少傾向にある一方で、世界的に需要は好調であることから相場は続伸しています。

海上運賃は、一時下落傾向で推移していたものの、北京オリンピック明け以降、中国向けを中心とした需要が活発化していることから底堅く推移しています。

為替相場は、米国のインフレ沈静化に向けた利上げ期待に伴い日米金利差は拡大傾向にあることから、前期と比較して円安・ドル高基調で推移しています。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢が世界経済に与える影響等、先行き不透明な状況が引続き継続するものと思われます。



以上

指導推進課コラム

4月

遮熱塗料による暑熱対策

近年の異常気象により酪農における暑熱対策は困難を極めており、扇風機やミスト等以外にも新たな対策が求められています。今回は業界紙等で昨今話題に上がっている遮熱塗料について、気になっている酪農家さんも多いのではないかと思いますので、県内での施工試験の結果をもとに紹介していきたい思います。

遮熱塗料とは

屋根や壁に塗布することで、室内温度の上昇を防ぐことのできる塗料です。原料はセラミックやフッ素樹脂等様々なものがありますが、屋根への蓄熱を防ぐという点ではいずれも一定の効果が見込めます。もともとは大規模工場や住宅等への施工が主な用途でありましたが、最近では業界紙等でも取り上げられ、畜産分野への暑熱対策として注目されています。



遮熱塗料を牛舎屋根に塗ると…

今回2件の酪農家さんの屋根へ2社の遮熱塗料を塗装し、施工建屋（牛舎）と未施工建屋の気温を記録し、塗料の比較検証試験を行いました。試験内容と結果は以下の通りです。

遮熱塗料比較検証試験

A牧場

塗料：セラミック塗料（溶剤系）
屋根平米：615㎡
施工方法：ローラー
施工期間：3日
屋根材質：トタン

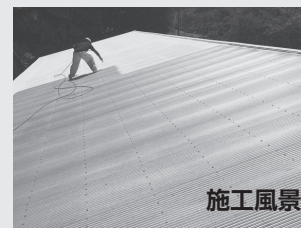


<結果>

試験期間：6/8～8/31
塗装後、施工建屋（牛舎）の温度が
未施工建屋に比べ、試験期間中
平均2.3℃低下し、最大5.0℃の低下を確認

B牧場

塗料：セラミック塗料（水性塗料）
屋根平米：810㎡
施工方法：吹付
施工期間：13日（実働）
屋根材質：ガルバリウム



<結果>

試験期間：7/5～9/27
塗装後、施工建屋（牛舎）の温度が
未施工建屋に比べ、試験期間中
平均2.1℃低下し、最大5.5℃の低下を確認

～農場主から～

「今回遮熱塗料を塗装したことで夕方気温低下に大きな違いを感じた。例年暑熱期は夕方になっても蓄熱した屋根のせいで牛舎内気温がなかなか低下しなかったが、塗料施工後は牛舎の冷えが非常に早い。蓄熱をしない証拠として、試しに施工後に屋根へ上がってみたが真夏日にも裸足で歩くことができた。投資額としては他の暑熱対策資材に比べ高価であったが、メーカーの実績として10年以上の耐用年数が保証されているということで、光熱費等のランニングコストがかからない点が大きなメリット。扇風機等の暑熱対策資材への投資だけでは、今後の更なる気候変動に耐えるには頭打ちの感覚があった。間違いなく他の酪農家も投資すべきだと感じる。」

費用と施工シミュレーション（搾乳50頭規模）

投資額＝屋根平米500㎡×3,500円（㎡単価）＝1,750,000円

組合助成後投資額＝1,250,000円（奨励対策事業：事業費の1/2、最大50万）

※他、国庫補助（中酪1/2事業）あり。

気温が35℃から30℃になった場合 →搾乳牛1頭当たり、最低でも1kg以上の乳量増加が期待！

暑熱期（5月～9月）に1頭当たり、乳量1kg増加した場合→乳量1kg（110円）×50頭＝5,500円/日の増収
→5,500円×150日（5月～9月）＝825,000円増収（約1年程度で投資金額の回収が可能）

今回は遮熱塗料について試験結果とともに、実際に施工した際の投資金額回収シミュレーションまで紹介させていただきました。今回の試験内容や、奨励対策事業、中酪事業を利用して遮熱塗料の施工を検討したい場合は、指導推進課までお問い合わせください。今月もありがとうございました。

全酪連の小窓 4月号 ～乳質改善に向けて～

春の季節が始まりました。暖くなり外作業をするにはちょうどいい気温ですね。今年こそは県内のお花見スポットを巡りたいと思います。ただ花粉には気を付けたいところです…季節の移り変わりは、人だけでなく牛にとっても乳質や繁殖などに影響を与えることになります。今回は乳質、特に体細胞数についてお話しします。

乳質とは

乳質に変化を与える影響要因は衛生的乳質・栄養的乳質・物理的乳質の3つの分類に分けることができます。それぞれの内容は下記の通りです。

◎衛生的乳質

生菌数、総菌数、病原菌、体細胞数、抗生物質

◎栄養的乳質

脂肪、無脂固形、ミネラル、ビタミン

◎物理的乳量

比重、温度、ごみ、臭い、加水、アルコール

今回はこの中でも、「**体細胞数**」に注目してみましょう。

体細胞数—Somatic Cells Count—

上皮細胞（乳腺細胞の残骸）と白血球（外部からの雑菌と戦った好中球の残骸）が合わさったもので、**乳房の健康状態を知るための指標**になります。

体細胞は値が高いと生産乳量の減少や異常風味が発生します。異常風味については食品として消費者にも影響を与えることになるので注意が必要です。

この体細胞数がバルク乳に与える影響は牛の状態によって変化します。

泌乳中：泌乳後期<泌乳中期<泌乳初期

産次：初産<経産

その他：乳房炎・ストレス

バルク乳の体細胞数が増えるにつれて、牛群の乳房炎罹患率は高いことが分かっています。潜在性乳房炎の場合、乳量や乳成分に影響を与えます。

●乳量：6%減少

●乳脂肪：5～12%減少

●乳糖：5～20%減少

●無脂固形分：最大8%減少

●C、P、K：減少 Na、Cl：増加

☆30頭搾り、平均乳量25kgの牛群でバルク乳体細胞数80万になった場合

・乳量の落ち込み→ひと月生産乳量22,500kg→6%減少するため1,350kgの乳量減少

1,350kg×乳価110円/kg = **14.8万円の損失**

・乳価格差 21,150kg/月×▲25円 = **52.8万円の損失**

・乳脂肪・無脂固形分の減少による乳価構成テーブルでの格差金減少・治療代+α

上記を計算するとひと月で約70万+αの損失が発生することになります。

乳房炎の病原菌は伝染性と環境性に分けられます。それぞれで感染経路や対策方法が異なるので、バルクのスクリーニングテストなどで自身の農場で発生している病原菌を特定・対応する必要があります。

●伝染性乳房炎…ミルカーを介して伝染

- ・黄色ブドウ球菌：抗生物質が効かないため、牛群内で感染を増やさないように早期発見・隔離・淘汰などの対応が必要
- ・無乳性連鎖球菌：乾乳期間中の完治させることが重要

●環境性乳房炎…牛体周りに存在

- ・大腸菌、環境性連鎖球菌、環境性ブドウ球菌
- 以下のポイントを押さえることで感染を予防することができます。

- ✓ 牛床の清潔
- ✓ 乳房の清潔
- ✓ 正しい搾乳手順
- ✓ 過搾乳の防止
- ✓ ディッピングの実施
- ✓ ミルカーの定期点検
- ✓ ライナーの交換

給与方法や給餌メニューでご不明な点がございましたら、全酪連スタッフや福島県酪職員へご相談ください！

ZENOAQ コーナー Vol.208



子牛の肺炎について 考えてみましょう

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

3月号では子牛がかかりやすい病気である「下痢」についてお話ししました。今月は同じく子牛がかかりやすい病気である「肺炎」についてご紹介します。

肺炎は哺乳期から育成期に多発する呼吸器病の一種です。古くから頻繁に発生しており、栄養管理や飼養管理やワクチン接種といった予防の工夫がなされていますが、子牛の呼吸器病の発生件数は減りません。それどころか、近年は大型の農家さんが増えて飼養密度が高くなっていることや、抗菌剤の薬剤耐性問題もあり、治療や対策は複雑化しています。

肺は通常時は無菌ですが、何かの原因で細菌やウイルスが侵入すると肺炎になります。字のとおり、「肺」に「炎症」が起こった状態で、臨床症状は発熱、発咳、鼻汁、呼吸促拍、食欲および元気消失などがあげられます。

肺炎は細菌とウイルス、細菌とマイコプラズマなど、複数の病原体が混合感染して生じることが多く、抗菌剤で治療されるのが一般的です。抗菌剤は肺炎の原因である細菌やマイコプラズマを死滅させることができますが、広がっていく炎症を止めることはできません。そこで、肺炎の治療には炎症を止める「抗炎症剤」を併用することが推奨されており、メロキシカム製剤やフルニキシン製剤が広く使用されています。

子牛に細菌の一種であるパストツレラを感染させて肺炎を誘発させ、抗菌剤（OTC製剤）と抗炎症剤（メロキシカム製剤；メタカム2%注射液、以下メタカム）の治療効果を比較した実験があります。パストツレラ感染9日後に、何も治療をしなかった牛、抗菌剤のみで治療した牛、抗菌剤とメタカムで治療した牛をそれぞれ解剖して、肺全体に対する病変の割合を比較したところ、メタカムを併用した牛で肺病変率が最も少なくなっていました（図1）。

肺炎から胸膜性肺炎が続発することもあります。胸膜は肺を包んでいる薄い膜ですが、この部分に炎症が生じた状態です。胸膜性肺炎の特徴的な症状は胸の痛みです。呼吸をすると痛みが出るので、深い呼吸ができず、浅い呼吸をするようになり、呼吸困難に陥ることもあります。抗炎症剤には疼痛作用もありますので、痛み対策のためにも使用することが推奨されます。

治療により発熱や咳などの肺炎症状が治まっても、肺炎によって障害を受けた肺組織はなかなか元に戻りません。健康な肺はふわふわしており、膨らんだり縮んだりすることで呼吸を行います。一方、肺炎で壊れた肺はカチコチに硬くなり、膨らむことができないので、呼吸ができません。つまり、呼吸は残された健康な肺だけで一生懸命行わなければならない、呼吸に必要なエネルギーが増えてしまいます。そして、増体に必要なエネルギーが減ってしまうため、発育不良になります。

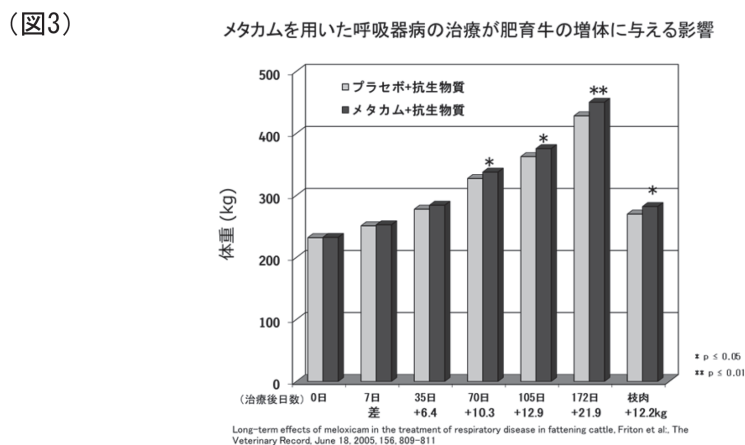
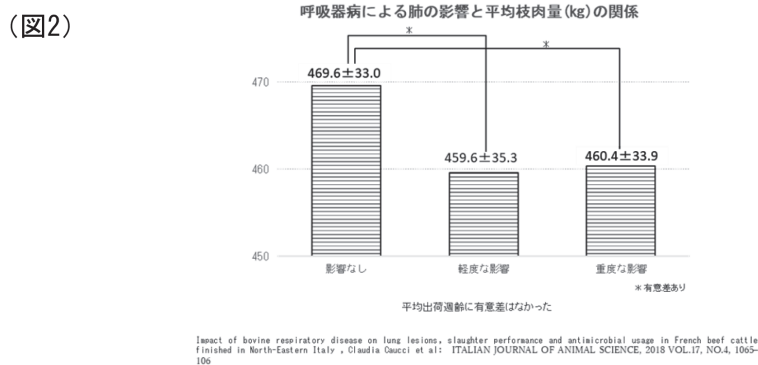
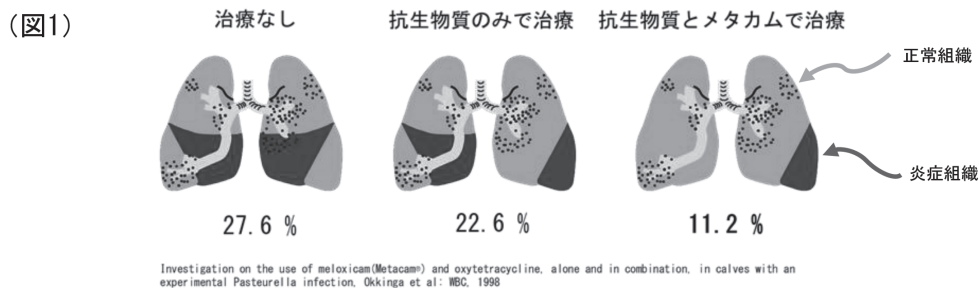
肉用牛において、呼吸器病によって生じた肺病変の程度と平均枝肉重量を比較した報告があります。過去の呼吸器病による影響が大きいほど、平均枝肉重量が少なく、生産性が低い傾向が認められました（図2）。

また、抗菌剤（テトラサイクリン製剤）のみで呼吸器病の治療をした牛と、抗菌剤とメタカムを併用して治療した牛の増体を比較した報告もあります。治療70日目以降で、メタカム併用群で有意な増体を示し、最終的な枝肉重量もメタカム併用群において有意に多かったことから、メタカムを用いた治療が生産性に貢献したことが分かりました（図3）。

子牛に呼吸器病が疑われる場合は、早期に獣医師の診察を受け、治療を開始しましょう。子牛の肺炎をこじらすと、その後の生産性に大きな影響をもたらしてしまいます。

最後に、本文中で紹介した抗菌剤や抗炎症剤は要指示医薬品ですので、獣医師の処方が必要です。使用に際しては、必ず獣医師にご相談ください。

病理学的病変が検出された肺組織の割合(%) (マンヘミア攻撃感染 9日後)



【参考文献】

1. 臨床病理 2021年9月号 ロジカルな子牛の呼吸器病(前編)
2. 臨床病理 2021年10月号 ロジカルな子牛の呼吸器病(後編)
3. 健康な子牛育成のための群管理
4. 子牛の医学
5. Investigation on the use of meloxicam(Metacam®) and oxytetracycline, alone and in combination, in calves with an experimental Pasteurella infection, Okkinga et al: WBC, 1998
6. Long-term effects of meloxicam in the treatment of respiratory disease in fattening cattle, Friton et al., The Veterinary Record, June 18, 2005, 156, 809-811
7. Impact of bovine respiratory disease on lung lesions, slaughter performance and antimicrobial usage in French beef cattle finished in North-Eastern Italy, Claudia Oaucci et al: ITALIAN JOURNAL OF ANIMAL SCIENCE, 2018 VOL.17, NO.4, 1065-106

ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン(株)情報提供

～配分検査による出荷停止措置廃止に伴う金銭ペナルティの見直しについて～

令和4年3月までの乳質自主規制は、乳脂肪率、無脂乳固形分率、体細胞、細菌数の4項目について、要領に定めた基準を満たさない場合は、それぞれ1日間の出荷停止措置となっております。

しかし、近年はSDGsやアニマルウェルフェアなど、酪農界にも社会的な関心が注がれるようになっており、生乳出荷停止措置は社会的に問題視されることが懸念されているため、SDGsに対応した環境への配慮や食品ロスの軽減などに配慮した酪農経営を目指すべく、それぞれ1日間の出荷停止措置については、令和4年度から廃止し、金銭ペナルティに置き換えることで決定されました。

1. 金銭ペナルティの見直し内容について

(1) 考え方：1日出荷停止分を金銭ペナルティ（△7円/kg）に置き換える。

(2) 算出根拠：△107.85円/kg×（1日/15日）≒△7円/kg

※令和2年度平均精算単価、補給金等含む

【改正】

| ランク | 細菌数 | 格差金 | 体細胞数 | 格差金 |
|-----|-----------|------|-----------|------|
| A | 5万未満 | +α円 | 20万未満 | +α円 |
| B | 5万～10万未満 | 0円 | 20～30万未満 | 0円 |
| C | 10万～30万未満 | -1円 | 30万～40万未満 | -1円 |
| | | | 40万～50万未満 | -3円 |
| D | 30万以上 | -12円 | 50万～80万未満 | -12円 |
| | | | 80万以上 | -25円 |

※統一乳質規制欄削除

【現行】

| ランク | 細菌数 | 格差金 | 体細胞数 | 格差金 |
|--------|--------------|------|--------------|------|
| A | 5万未満 | +α円 | 20万未満 | +α円 |
| B | 5万～10万未満 | 0円 | 20～30万未満 | 0円 |
| C | 10万～30万未満 | -1円 | 30万～40万未満 | -1円 |
| | | | 40万～50万未満 | -3円 |
| D | 30万以上 | -12円 | 50万～80万未満 | -12円 |
| | | | 80万以上 | -18円 |
| 統一乳質規制 | 30万以上 1日出荷停止 | | 80万以上 1日出荷停止 | |

乳 価 構 成 テ ー ブ ル 表

東北生乳販連福島支所
福島県酪農業協同組合
(単位 % : 円)

| FAT | 3.14% | 3.2% | 3.3% | 3.4% | 3.5% | 3.6% | 3.7% | 3.8% | 3.9% | 4.0% | 4.1% | 4.2% | 4.3% |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| SNF 以下 | | | | | | | | | | | | | |
| 8.9%以上 | -27.0 | 1.5 | 1.8 | 2.1 | 2.4 | 2.7 | 3.0 | 3.3 | 3.6 | 3.9 | 4.2 | 4.5 | 4.8 |
| 8.8% | -27.0 | 1.1 | 1.4 | 1.7 | 2.0 | 2.3 | 2.6 | 2.9 | 3.2 | 3.5 | 3.8 | 4.1 | 4.4 |
| 8.7% | -27.0 | 0.7 | 1.0 | 1.3 | 1.6 | 1.9 | 2.2 | 2.5 | 2.8 | 3.1 | 3.4 | 3.7 | 4.0 |
| 8.6% | -27.0 | 0.3 | 0.6 | 0.9 | 1.2 | 1.5 | 1.8 | 2.1 | 2.4 | 2.7 | 3.0 | 3.3 | 3.6 |
| 8.5% | -27.0 | -0.1 | 0.2 | 0.5 | 0.8 | 1.1 | 1.4 | 1.7 | 2.0 | 2.3 | 2.6 | 2.9 | 3.2 |
| 8.4% | -27.0 | -0.5 | -0.2 | 0.1 | 0.4 | 0.7 | 1.0 | 1.3 | 1.6 | 1.9 | 2.2 | 2.5 | 2.8 |
| 8.3% | -27.0 | -0.9 | -0.6 | -0.3 | 0.0 | 0.3 | 0.6 | 0.9 | 1.2 | 1.5 | 1.8 | 2.1 | 2.4 |
| 8.2% | -27.0 | -1.3 | -1.0 | -0.7 | -0.4 | -0.1 | 0.2 | 0.5 | 0.8 | 1.1 | 1.4 | 1.7 | 2.0 |
| 8.1% | -27.0 | -1.7 | -1.4 | -1.1 | -0.8 | -0.5 | -0.2 | 0.1 | 0.4 | 0.7 | 1.0 | 1.3 | 1.6 |
| 8.0% | -27.0 | -2.1 | -1.8 | -1.5 | -1.2 | -0.9 | -0.6 | -0.3 | 0 | 0.3 | 0.6 | 0.9 | 1.2 |
| 7.94%以下 | -54.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 | -27.0 |

※ 検査成績の判定は、乳脂肪分・無脂固形分とも小数点以下第2位を四捨五入した値をもって判定する。

- (注) 1. 昭和60年6月1日制定
2. 昭和62年4月1日改訂
3. 平成元年4月1日改訂
4. 平成10年7月1日改訂
5. 平成11年10月1日改訂
6. 平成20年4月1日改訂
7. 平成24年4月1日改訂
8. 令和3年12月14日改訂、令和4年4月1日より施行

2. 改正時期

令和4年4月1日より施行する。

令和4年度 福島県酪農協 乳牛市場 開催日程

| 開催日 | | 出場予定頭数 |
|------|-----------|--------------------------|
| 令和4年 | 4月13日(水) | 初生牛 250頭 |
| | 5月12日(木) | 初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭 |
| | 6月14日(火) | 初生牛 250頭 |
| | 7月13日(水) | 初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭 |
| | 8月9日(火) | 初生牛 250頭 |
| | 9月14日(水) | 初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭 |
| | 10月12日(水) | 初生牛 250頭 |
| | 11月11日(金) | 初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭 |
| | 12月14日(水) | 初生牛 250頭 |
| 令和5年 | 1月13日(金) | 初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭 |
| | 2月14日(火) | 初生牛 250頭 |
| | 3月14日(火) | 初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭 |



乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和4年2月28日現在

| 地 区 | 酪農家戸数 | | | 乳 牛 頭 数 | | | | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|---------|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 戸数 | 前年度戸数 | 前年比 | 育成 | 初妊 | 経産牛 | | | | 合計 | 前年度頭数 | 前年比 | 1戸当り頭数 |
| | | | | | | 乾乳妊娠 | 妊娠搾乳 | 空胎搾乳 | 小計 | | | | |
| 県北 | 33 | 35 | 94.3 | 500 | 167 | 145 | 470 | 826 | 1,441 | 2,108 | 2,189 | 96.3 | 63.9 |
| 県中 | 61 | 67 | 91.0 | 302 | 124 | 136 | 440 | 812 | 1,388 | 1,814 | 1,791 | 101.3 | 29.7 |
| 浜 | 7 | 7 | 100.0 | 84 | 28 | 25 | 72 | 126 | 223 | 335 | 317 | 105.7 | 47.9 |
| 県南 | 40 | 40 | 100.0 | 697 | 313 | 207 | 616 | 1,062 | 1,885 | 2,895 | 2,946 | 98.3 | 72.4 |
| 合計 | 141 | 149 | 94.6 | 1,583 | 632 | 513 | 1,598 | 2,826 | 4,937 | 7,152 | 7,243 | 98.7 | 50.7 |

| 地 区 | 月 別 分 娩 予 定 頭 数 | | | | | | | 販 売 乳 量 | | | | |
|-----|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|--------|----------|------|
| | 令和4年3月 | 令和4年4月 | 令和4年5月 | 令和4年6月 | 令和4年7月 | 令和4年8月 | 令和4年9月 | 生乳出荷戸数 | 地域別販売乳量 | | 1日1頭当り乳量 | |
| | 頭 | 頭 | 頭 | 頭 | 頭 | 頭 | 頭 | | 1日当り | 1日1戸当り | 搾乳牛 | 経産牛 |
| 県北 | 85 | 104 | 84 | 77 | 125 | 142 | 160 | 29 | 36,468 | 1,258 | 28.1 | 25.3 |
| 県中 | 90 | 72 | 82 | 90 | 89 | 109 | 168 | 61 | 30,778 | 505 | 24.6 | 22.2 |
| 浜 | 16 | 7 | 16 | 18 | 15 | 27 | 26 | 7 | 5,537 | 791 | 28.0 | 24.8 |
| 県南 | 141 | 120 | 129 | 139 | 171 | 181 | 255 | 39 | 47,180 | 1,210 | 28.1 | 25.0 |
| 合計 | 332 | 303 | 311 | 324 | 400 | 459 | 609 | 136 | 119,963 | 882 | 27.1 | 24.3 |

令和3年度受託乳量の状況

令和4年2月の受託乳量は、県全体で前年比102.0%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,353トンの前年比102.6%（対前年同85トンの増）、全農県本部は1,509トンの対前年比100.5%（対前年同月8トンの増）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比100.3%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比101.9%となりました。

令和3年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが150.4%と上回り、その他の飲用向けが94.8%、学校給食向けが93.2%、発酵乳向けが97.3%、生クリーム向けが98.6%、チーズ向けが97.8%と下回って推移しました。

引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。10月25日からヨークベニマル全

店で先行販売されている「酪王カフェオレプリン」ですが、11月1日より東日本地域のスーパーやコンビニエンスストアなどで販売しております。ぜひお買い求めいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均46.3トン（前年比88.6%）で、本組合生産量の38.7%、県全体生産量の26.7%の処理量となりました。

令和4年度2月別支払乳価表

令和3年度の販売乳価は、全用途で前年度価格据え置きとなりました。

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年より1円68銭7厘下回る単価となりました。

全国の新型コロナ感染者数が減ることが、人・物が今までとおりに動き出し、経済も回復し、結果、牛乳・乳製品の消費回復と乳価が上がることにつながっていきます。18都道府県に適用されている新型コロナ対策のまん延防止等重点措置についてですが、すべての地域で3月21日の期限をもって解除されています。しかし、新型コロナウイルスの蔓延が完全に収束した訳ではなく、まだまだ油断できない日々が続いております。感染症対策を徹底し、皆さんで新型コロナが終息するまで頑張りましょう。医療従事者皆様のご苦労については感謝申し上げます。

- 東北全体プール乳代金 3,954,822千円 単価108.011円
- 内 福島県分プール乳代金① 459,075千円 単価108.011円
- プール対象外乳代金② 88,100千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)
- 合計乳代金①+② 547,175千円 単価112.533円

| 項目 | 令和4年2月 | 前年同月 | 増減 | 前々年同月 |
|----------|---------|---------|--------|---------|
| プール乳価 | 108円850 | 111円032 | -2円182 | 110円888 |
| 補給金単価 | 1円259 | 0円887 | 0円372 | 0円876 |
| 集送乳調整金単価 | 0円394 | 0円271 | 0円123 | 0円262 |
| 合計 | 110円503 | 112円190 | -1円687 | 112円026 |

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体2月)

| 用途別 | 販売乳量(トン) | 日量(トン) | 前年比(%) | シェア(%) | 前年度シェア |
|---------|----------|---------|--------|--------|--------|
| 飲用向け | 24,893 | 889.0 | 94.8 | 63.9 | 67.6 |
| 加工向け | 5,456 | 195.0 | 150.4 | 14.0 | 9.3 |
| 学校給食向け | 2,345 | 84.0 | 93.2 | 6.0 | 6.5 |
| 醗酵乳向け | 5,748 | 205.0 | 97.3 | 14.8 | 15.2 |
| 生クリーム向け | 408 | 15.0 | 98.6 | 1.0 | 1.1 |
| チーズ向け | 111 | 4.0 | 97.8 | 0.3 | 0.3 |
| 合計 | 38,960 | 1,392.0 | 100.3 | 100.0 | 100.0 |

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

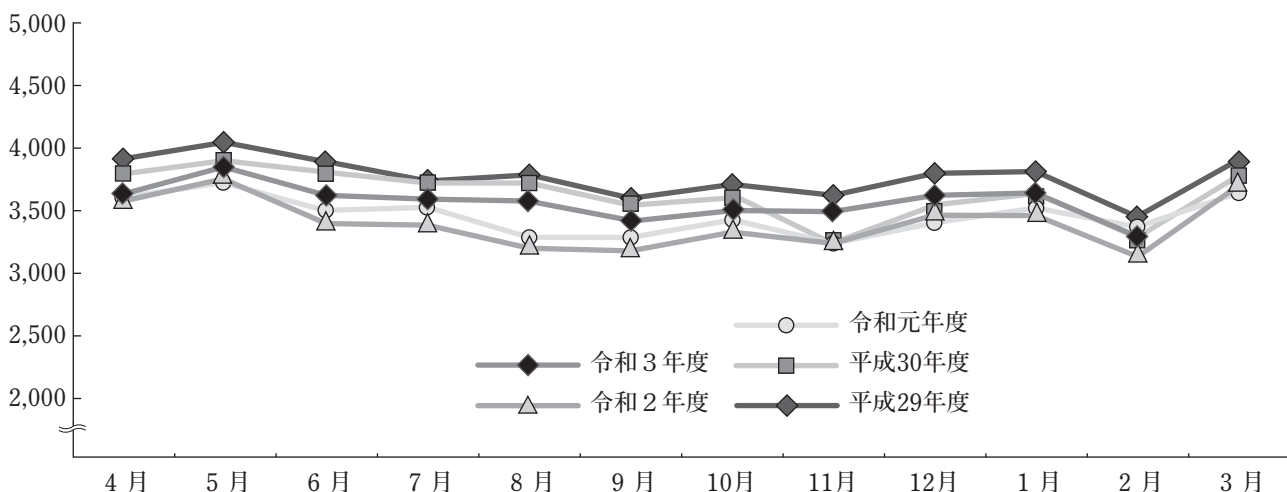
北海道：103.5%、都府県：99.9%

| 団体名 | 2月分 | | |
|---------|----------|----------|--------|
| | 受託乳量(トン) | 日量(トン) | 前年比(%) |
| 県酪協 | 3,353 | 119.8 | 102.6 |
| 全農福島県本部 | 1,509 | 53.9 | 100.5 |
| 合計 | 4,862 | 173.7 | 102.0 |
| 東北生乳販連 | 38,960 | 1,391.4 | 100.3 |
| 全国 | 563,662 | 20,130.8 | 101.9 |

月別受託乳量 県酪協 (トン)

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 29年度 | 3,958 | 4,132 | 3,940 | 3,880 | 3,778 | 3,622 | 3,740 | 3,637 | 3,797 | 3,820 | 3,498 | 3,948 | 45,750 |
| 30年度 | 3,865 | 3,927 | 3,768 | 3,758 | 3,757 | 3,565 | 3,617 | 3,385 | 3,572 | 3,687 | 3,369 | 3,818 | 44,091 |
| 令和元年度 | 3,661 | 3,736 | 3,526 | 3,528 | 3,380 | 3,391 | 3,495 | 3,349 | 3,477 | 3,589 | 3,442 | 3,735 | 42,310 |
| 令和2年度 | 3,642 | 3,739 | 3,495 | 3,482 | 3,363 | 3,310 | 3,458 | 3,341 | 3,505 | 3,549 | 3,268 | 3,723 | 41,874 |
| 令和3年度 | 3,693 | 3,859 | 3,629 | 3,599 | 3,564 | 3,486 | 3,578 | 3,515 | 3,619 | 3,652 | 3,353 | | |
| 前年比% | 101.4 | 103.2 | 103.8 | 103.4 | 106.0 | 105.3 | 103.5 | 105.2 | 103.2 | 102.9 | 102.6 | | |

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

| 年 度 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 平均 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 令和3年度 | 110.502 | 111.609 | 113.060 | 111.724 | 110.197 | 112.507 | 112.537 | 112.319 | 109.640 | 110.594 | 110.503 | | |
| 令和2年度 | 108.959 | 110.268 | 113.694 | 113.625 | 112.257 | 114.269 | 113.489 | 112.845 | 111.265 | 111.109 | 112.190 | 109.876 | 111.986 |
| 令和元年度 | 107.825 | 109.442 | 110.235 | 109.707 | 109.001 | 110.834 | 113.758 | 112.804 | 110.935 | 111.470 | 112.026 | 108.238 | 110.523 |
| 30年度 | 105.316 | 106.566 | 107.245 | 106.734 | 104.684 | 108.041 | 107.673 | 107.183 | 104.902 | 105.545 | 106.664 | 104.358 | 106.242 |
| 29年度 | 105.107 | 106.247 | 107.367 | 106.918 | 104.637 | 107.789 | 107.187 | 107.002 | 104.876 | 105.603 | 106.317 | 104.647 | 106.141 |

第317回 県酪協乳牛市場成績

令和4年3月11日開催

購買者数 36名（うち県外17名）

| 区分 | 畜種 | 雌雄 | 成立数 (成立率) | 最高価格 最低価格 | 平均価格 (前回比) | 平均体重 (前回比) | 平均単価 (前回比) | |
|-------------|-------|----|--------------|--------------------|--------------------|------------------|----------------|--|
| ET和牛 初生牛 | ET和牛 | メス | 7 (100) | 458,000 386,000 | 424,571 (101) | 85 (96) | 5,012 (106) | |
| | | 雄 | 11 (100) | 538,000 327,000 | 481,182 (102) | 104 (102) | 4,627 (100) | |
| | 乳 牛 | メス | 2 (100) | 41,000 35,000 | 38,000 (219) | 64 (82) | 594 (269) | |
| | | 雄 | 40 (98) | 177,000 23,000 | 123,750 (133) | 74 (103) | 1,663 (129) | |
| | 交 雑 牛 | メス | 66 (100) | 191,000 26,000 | 147,697 (119) | 77 (107) | 1,917 (111) | |
| | | 雄 | 80 (100) | 307,000 69,000 | 205,988 (133) | 80 (103) | 2,586 (130) | |
| | 経 産 牛 | | | 3 (100) | 369,000 222,000 | 301,000 (146) | | |
| | 初 妊 牛 | | | 10 (91) | 677,000 420,000 | 569,500 (125) | | |
| 搾乳用雌子牛 | | | 12 (80) | 311,000 76,000 | 193,667 (143) | | | |

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種毎価格帯別分布表 （0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

| 畜種 | 雌雄 | 価 格 帯 (万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|
| | | <30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | | | |
| ET和牛 | メス | | | | | | | | | 1 | | 2 | | | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | 雄 | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | 2 | 2 | 1 | 2 | | | |
| 畜種 | 雌雄 | 価 格 帯 (万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | | | |
| 乳 牛 | メス | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 雄 | | | 3 | | | 1 | | | 2 | 3 | 5 | 2 | 1 | 1 | 12 | 3 | 5 | 2 | | | | | | | | | | |
| 畜種 | 雌雄 | 価 格 帯 (万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | |
| 交 雑 牛 | メス | 4 | 1 | | 1 | 3 | 1 | 3 | 5 | 3 | 13 | 16 | 10 | 5 | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 雄 | 1 | | | | | | 2 | 1 | 5 | 9 | 7 | 6 | 9 | 3 | 8 | 3 | 1 | 1 | 4 | 1 | 1 | 3 | 4 | 5 | 6 | | | |

初妊牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

| 価格帯(万円) | <5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | ~ | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|---------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 経産牛 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| 価格帯(万円) | <41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | ~ | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 |
| 初妊牛 | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | 1 |
| 価格帯(万円) | <10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 |
| 搾乳用雌子牛 | 1 | | | | 1 | 2 | 1 | | | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | |

組 合 の 動 き 3 月

| | | | |
|-------|---------------------------|-------|-------------------------|
| 3月1日 | 辞令交付式 | 3月16日 | ヘルパー利用組合方部運営委員会（県北） |
| 3月1日 | ヘルパー利用組合三役会 | 3月17日 | 福島県ホルスタイン改良同志会監査会・決算役員会 |
| 3月2日 | 監事と代表理事等との定期的会合 | 3月18日 | 日本ホルスタイン登録協会理事会（WEB） |
| 3月3日 | 畜産技術情報会議（WEB） | 3月22日 | 福島県農業振興公社理事会 |
| 3月3日 | 酪王協同乳業(株)取締役会 | 3月22日 | 農畜産物損害賠償対策福島県協議会総会 |
| 3月4日 | 県酪女性部やまびこ会決算役員会 | 3月23日 | 第11回理事会 |
| 3月4日 | 東北生乳販連理事会（WEB） | 3月24日 | 東北生乳販連臨時総会・理事会（WEB） |
| 3月4日 | 福島県獣医師連盟役員会 | 3月24日 | 東北酪農青年女性酪農発表大会 |
| 3月4日 | 福島県獣医師会理事会 | 3月24日 | ～25日 |
| 3月7日 | ヘルパー利用組合理事会 | 3月25日 | 全国酪農協会理事会（WEB） |
| 3月7日 | 酪農政治連盟東北ブロック協議会監査・総会（WEB） | 3月25日 | 生乳委託者委員会幹事会 |
| 3月7日 | 福島県畜産振興協会理事会 | 3月25日 | 経営検討会 |
| 3月10日 | Jミルク臨時総会（WEB） | 3月29日 | 酪青連決算役員会 |
| 3月11日 | 乳牛せり市場 | 3月29日 | 生乳委託者委員会 |
| 3月14日 | ヘルパー利用組合方部運営委員会（県南） | 3月31日 | 辞令交付式 |
| 3月15日 | 全酪連ブロック会議（WEB） | | |
| 3月16日 | ヘルパー利用組合方部運営委員会（県中） | | |

理 事 会

第11回 令和4年3月23日

議 案

- 議案第1号 令和4年度事業方針並びに計画立案骨子について
- 議案第2号 酪農ヘルパーの組合事業化及び規約・規程の制定について
- 議案第3号 令和4年度生産奨励対策事業の基本方針（案）について
- 議案第4号 令和4年度高能力乳用雌牛整備事業の実施について
- 議案第5号 令和4年度乳牛導入に係る貸付金額条件の緩和について
- 議案第6号 令和4年度余裕金預入先金融機関並びに運用方法について

- 議案第7号 令和4年度一組員に対する貸付金並びに貸付金利率最高限度について
- 議案第8号 令和4年度事業資金の借入並びに最高限度について
- 議案第9号 特別積立金の取り崩しについて
- 議案第10号 特非FAR-Netとの準消費貸借契約の締結について

報 告 事 項

- 1) 令和4年度職員定期異動等について
- 2) 令和3年度下期定期監査の日程について
- 3) 今後の日程について
- 4) 総会までの日程について

令和3年度異動等辞令交付

◆新採用

令和4年3月1日付

| 職 位 | 氏 名 | 新 任 |
|------|------|------------|
| 嘱託職員 | 須田 望 | 経営管理部経営管理課 |
| 嘱託職員 | 川名 孝 | 組織振興室 |

令和4年度定期異動・昇進・昇格・昇級・退職者

◆退職者

令和4年3月31日付

| 氏 名 | 事 由 | 所 属 |
|--------|------|--------------|
| 遠藤 強 | 定年退職 | 組織振興室参与 |
| 原田 久雄 | 定年退職 | 経営管理部経営管理課参与 |
| 木戸 美幸 | 定年退職 | 県南事務所参与 |
| 阿部 静江 | 契約満了 | 浜事務所 |
| 菅原 勝志 | 依願退職 | 県中事務所 |
| 武藤 沙耶香 | 依願退職 | 復興牧場設立準備室 |



◆派遣終了

令和4年3月31日付

| 職 位 | 氏 名 | 所 属 |
|------|--------|-------|
| 派遣職員 | 根本 ひかり | 組織振興室 |

◆異動（昇進・昇格他含む）

令和4年4月1日付

| 職 位 | 氏 名 | 新 任 | 旧 任 |
|------|--------|-----------------|----------------------------|
| 副審査役 | 横山 良征 | 復興牧場設立準備室室長 | 経営管理部長兼監査室長兼 復興牧場設立準備室長 |
| 調査役 | 小代 具毅 | 生産部指導診療所県南事務所係長 | 生産部指導診療所 |
| 副調査役 | 野口 広太郎 | 生産部指導診療所 | 生産部指導診療所県南事務所 |
| 副調査役 | 鈴木 守一 | 県南事務所 | 県北事務所 |
| 一般職位 | 渡辺 弘美 | 浜事務所兼生産部購買畜産課 | 生産部購買畜産課 |
| 一般職位 | 増子 桂子 | 組織振興室 | 経営管理部経営管理課兼 監査室監査課 |



昇格・昇級：川名 孝

この度、組織振興室に配属されました、川名孝です。
業務に慣れるまで皆様にご迷惑おかけしますが、一日でも早く組合の力になれるよう努力します。
よろしくお願い致します。



昇格・昇級：須田 望

経営管理部経営管理課に配属になりました須田望と申します。
はやく環境に慣れて仕事をこなせるよう頑張ります。
よろしく願いいたします。

◆昇進（昇格他含む）

| 職位 | 氏名 | 新任 | 旧任 |
|------|--------|------------------------|---------------------------|
| 副検査役 | 佐々木 光輝 | 経営管理部次長兼監査室次長 (2等級) | 経営管理部課長兼監査室課長 (調査役3等級) |
| 調査役 | 角田 淳也 | 生産部販売課長 | 生産部販売課長代理 (副調査役) |
| 副検査役 | 佐藤 隆 | 生産部購買畜産課長補佐 | 生産部購買畜産課係長 (調査役) |
| 調査役 | 小島 宏文 | 生産部指導診療所係長 | 生産部指導診療所 |
| 副調査役 | 金澤 章博 | 生産部購買畜産課係長 県北地区担当 | 生産部購買畜産課県北地区担当 |
| 副調査役 | 三浦 愛美 | 組織振興室係長 | 組織振興室 |
| 副調査役 | 岡野 巧 | 生産部指導推進課主任 | 生産部指導推進課 |

◆昇格・昇級

| 職位 | 氏名 | 新任 | 旧任 |
|------|--------|-----------------------------|--------------------------|
| 副検査役 | 平尾 修 | 生産部購買畜産課長(2等級) | 生産部購買畜産課長(調査役3等級) |
| 一般職位 | 武田 さとみ | 経営管理部経営管理課兼 監査室監査課(一般職位) | 経営管理部経営管理課(嘱託職員) |
| 一般職位 | 飛知 和龍太 | 生産部購買畜産課哺育センター (一般職位) | 生産部購買畜産課哺育センター (嘱託職員) |
| 一般職位 | 川名 孝 | 組織振興室(一般職位) | 組織振興室(嘱託職員) |
| 一般職位 | 須田 望 | 経営管理部経営管理課兼 監査室監査課(一般職位) | 経営管理部経営管理課 (嘱託職員) |

◆新採用

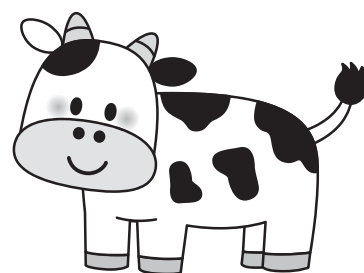
| 職位 | 氏名 | 新任 |
|------|--------|----------|
| 一般職位 | 朝倉 郁也 | 生産部購買畜産課 |
| 一般職位 | 鈴木 和日葉 | 生産部購買畜産課 |

◆再雇用

| 職位 | 氏名 | 新任 |
|------|-------|-------------|
| 嘱託職員 | 原田 久雄 | 経営管理部長兼監査室長 |

◆派遣受入

| 職位 | 氏名 | 新任 |
|------|--------|----------|
| 派遣職員 | 根本 美和子 | 生産部指導推進課 |



令和4年度異動等辞令交付

◆新採用

令和4年4月4日付

| 職位 | 氏名 | 新任 |
|------|-------|------------|
| 一般職位 | 渡邊 真樹 | 生産部購買畜産課 |
| 一般職位 | 角田 弘樹 | 組織振興室 |
| 一般職位 | 高橋 輝 | 経営管理部経営管理課 |

主催 全国酪農青年女性会議 / 全国酪農業協同組合連合会

第50回 全国酪農青年女性 酪農発表大会 in 東京

令和4年
7/14(木)▶15(金)

特別記念講演

スイミングアドバイザー / スポーツコメンテーター

岩崎 恭子氏



1992年バルセロナオリンピック
200m平泳ぎ金メダリスト。
現在は水泳の指導や普及活動、コメン
テーターとして活躍中。

日程

7月14日(木)

13:00~13:50 開会式
13:55~16:15 酪農経営発表
16:15~16:25 らくのうこどもギャラリー表彰式
16:40~18:15 酪農意見・体験発表
19:20~21:30 懇親会

7月15日(金)

9:00~10:10 特別記念講演
10:25~11:35 審査講評・表彰式
11:40~11:45 新旧役員紹介
11:45~11:50 閉会式

大会参加費

1名 **5,000円** (大会のみ) 1名 **15,000円** (大会・懇親会まで)

※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場・アクセス

◆会場・宿泊

「ホテルイースト21東京」
〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
TEL. 03-5683-5683 (代表)

◆アクセス



- 最寄駅
東京外環東西線「東陽町駅」1番出口から徒歩7分
- 鉄道の場合
東京駅よりタクシーで約15分
- 車の場合
東京駅より約15分
羽田空港より約60分
成田空港より約60分
- 飛行機でお越しの場合
成田空港・羽田空港よりリムジンバス運行



大会事務局

全国酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
全酪連 総務部 組織対策課 内 / TEL. 03-5931-8003

主催：全国酪農青年女性会議

作品募集のお知らせ

第48回 らくのう こどもギャラリー

① 募集規定

- (1)酪農を中心とした題材の図画（大きさは自由）
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、題名・住所・氏名・振り仮名・年齢・学校名・学年・保護者名を必ず記載してください。また、酪農家の子弟については保護者の所属組合名を記載してください。
- (4)作品返却を希望される方は応募時に返却希望の旨を申し出てください。

② 応募資格

4歳から中学生までの酪農家の子弟、および酪農に関心のある一般のお子さん。

③ 締切日

令和4年5月20日（金）（必着）

④ 提出先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。

⑤ 審査結果の発表

「第50回全国酪農青年女性酪農発表大会」の発表要旨、および全酪連会報7月号に審査結果を掲載いたします。

⑥ 褒賞

- ・特選 1点
 - ・入選 4点
 - ・秀作 若干
 - ・ファミリー賞 若干
（牛とのふれあいなど、ほのぼのとした雰囲気を持つ作品に贈られます）
 - ・あすなる賞 若干
（小学校入学以前の方の優秀作品に贈られます）
- ◎入賞者には記念品を贈呈いたします。
◎図画の優秀作品は、作者の顔写真・審査講評と共に「全酪連会報」の最終ページに掲載します。



第47回 特選
「うしさん、おおきいな」
荒 勇翔さん

第12回 酪農いきいき フォトコンテスト

全国酪農青年女性会議では、酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に、「酪農いきいきフォトコンテスト」を実施します。

つきましては、下記のとおり作品を募集しますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

① テーマ

- (1)「乳牛のいる風景」
 - (2)「酪農作業風景」
- ※いずれも、酪農家がいきいきと牛乳生産に励む様子や、安心安全な牛乳生産のため懸命に仕事に取り組む姿勢が感じられるようなもの。

② 募集規定

- (1)写真は可能な限りデータで提出してください。
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、題名・氏名・振り仮名・住所・所属組合名を必ず記載してください。

③ 応募資格

酪農家

④ 締切日

令和4年5月20日（金）
（必着）

⑤ 提出先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。



第11回 特選
「こちらの哺乳瓶からも味見」
川野洋平氏 撮影

⑥ 審査方法

応募作品を「第50回全国酪農青年女性酪農発表大会」の会場内に掲載し、大会参加者の投票による審査を行います。
※応募多数の場合は事務局による予備審査を行います。

⑦ 審査結果の発表

- (1)「第50回全国酪農青年女性酪農発表大会」にて発表します。
- (2)「全酪連会報」の表紙に使用します。（号数未定）

⑧ 褒賞

- ・特選 1点
 - ・入選 若干
- ◎入賞者には賞品を贈呈いたします。
◎提出していただいた作品の返却はいたしません。
◎応募していただいた作品は、全酪連会報およびカレンダーへの掲載を含め、今後各地での牛乳消費拡大活動（「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーン含む）等で使用することがありますのでご了承ください。

提出先一覧

●北海道酪農青年女性会議

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1
酪農センター5階 全酪連札幌支所内
TEL 011-241-0765

●東北酪農青年女性会議

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-7-20
東邦ビル3階 全酪連仙台支所内
TEL 022-221-5381

●関東甲信越酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-37-2
酪農会館 全酪連東京支所内
TEL 03-5931-8011

●中部酪農青年女性会議

〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6
名古屋三蔵ビル3階 全酪連名古屋支所内
TEL 052-209-5611

●西日本酪農青年女性会議

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10
新大阪トヨタビル6階 全酪連大阪支所内
TEL 06-6305-4196

●九州酪農青年女性会議

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15
事務機ビル7階 全酪連福岡支所内
TEL 092-431-8111

シャインコースト牧場（浪江町復興牧場）の 現状をご報告します！

令和7年4月開牧を目標に復興牧場設立準備室が中心になって手続きを進めているところです。
現在の進捗状況をご報告致します。

1. 牧場建設について

令和3年9月27日付けで浪江町にて入札が行われ、(株)大建設計（本店：大阪府大阪市）が入札されました。現在は、この(株)大建設計を中心に建物の基本設計事業が進められています。

現在の予定地の状況は、第一期の埋蔵文化財発掘調査が行われております。発掘調査は三期に分割して実施される予定であり、第一期は令和3年度で終了し、第二期は令和4年度に実施される予定で、造成工事、建築工事と並行して行われることとなります。

2. 人材確保及び教育について

シャインコースト(株)の人材確保、酪農人材教育の場としてNPO福島農業復興ネットワーク及び全酪連の協力を得まして、ミネロファーム、全酪連酪農技術研究所等を活用し、牛群技術管理及び経営管理を身につけるためのトレーニングの場（ミニシャインコースト）として令和4年4月にスタートします。同時に、全酪アカデミーより研修生1名をミネロファームにて受け入れています。

3. 浪江町での飼料試験栽培について

令和4年度から、新たに浪江町立野地区にて試験を兼ねた飼料作物栽培をスタートします。除染で表土が削られた土地を回復させ、安全性を確認しながらの栽培となります。

また、令和3年度から棚塩地区にて消化液を使った水稻、及び稲WCSを試験栽培しておりますが、令和4年度は棚塩地区では継続し、新たに立野地区でも実施していく予定です。



(埋蔵文化財発掘調査の様子 令和4年3月)

福島県牛乳普及協会
令和3年度
牛乳・乳製品利用料理コンクール
福島県大会入賞レシピ



郡山女子大学附属高等学校
三瓶 莉奈さんの作品

油揚げで簡単！なんちゃってクリームコロッケ



●●● 材 料 ●●●

(材料：4人分)

- ・油揚げ …………… 4枚
- ・ピーマン …………… 1個
- ・玉ねぎ …………… 1/2個
- ・じゃがいも …………… 1/2個
- ・コーン …………… 40g
- ・薄力粉 …………… 大さじ4
- ・にんじん …………… 1/4本
- ・コンソメ …………… 小さじ1/4
- ・スライスチーズ …………… 4枚
- ・塩 …………… 小さじ1/4
- ・バター …………… 25g
- ・こしょう …………… 少々
- ・牛乳 …………… 300ml
- ・パセリ …………… 少々

A

●作り方

- ①玉ねぎ、にんじん、ピーマン、じゃがいもをこまかく切る。
- ②フライパンにバターを入れて中火で熱し、玉ねぎがあめ色になるまでいため、にんじん、ピーマンの順に入れ炒める。
- ③薄力粉を加え、粉っぽさがなくなるまで炒める。牛乳を少しずつ加え、よく混ぜる。
- ④じゃがいもは茹でてつぶし、マッシュにしてつなぎにする。

- ⑤③にマッシュポテト、コーンとAの調味料を混ぜ、粗熱をとる。
- ⑥油揚げにお湯をかけ油抜きをして、クッキングペーパーで水分をとり、半分に切る。
- ⑦油揚げに⑤を入れスライスチーズを半分に詰めて、口をつまようじで止める。
- ⑧⑦を天板に並べ、焼き色がつき、カリカリするまでトースターで7～8分程度焼く。焼きあがったら、つまようじを外して、皿に盛り付ける。

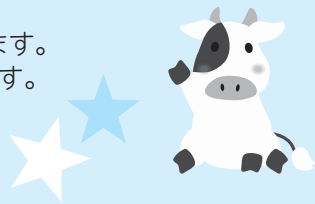
ポイント 色採りの良い野菜をたくさん使い、また栄養バランス良く仕上げました。

『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思っております。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : miura@fukuraku.or.jp ・ kei-masiko@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103



お詫び

2022年3月号の3ページにおきましてお名前に誤りがありましたので、訂正致しますとともに、関係者各位にお詫び申し上げます。

ひまわりコンクール審査会開催 1行目 ○：会長 福田 祐子 ×：会長 福田 裕子

『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由(ほっと(^o^))する話題がいいですね
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付(常時受け付けしています)
メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : miura@fukuraku.or.jp ・ h-nemoto@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL http://www.milk.fukushima.jp